

# ビジョン分科会とは

「スマートシティビジョンの検討および地域へのスマートシティ普及促進」分科会  
(2020年1月～12月まで9回開催)

主な成果は

スマートシティの中長期の計画(政策)目標の検討に参考になるような情報の収集  
地域のスマートシティ構築における共通的な課題のあぶり出しと対処の方向性を共有



## 政府としての「意義・目的」 ～ 政府方針におけるスマートシティ関連の記載

- 「経済財政諮問会議」「骨太の方針」の関係で
  - 「経済・財政一体改革推進委員会」とサブWGにおいてスマートシティの実行計画を設定 [10/9, 10/29]
  - 「改革工程表2020」でスマートシティ関連の政策目標・KPIを設定[12/18]
- 「デジタル・ガバメント閣僚会議」におけるデータ戦略やデジタルガバメント実行計画でデータ連携基盤の構築に触れる[12/21]
- 「グリーンイノベーション戦略推進会議」においてカーボンニュートラル2050実現に向けたライフスタイル分野の戦略[12/25]
- 「インフラシステム新戦略」においてスマートシティの海外展開の方針が策定[12/10]
- 次期科学技術・イノベーション基本計画（第6期：2021-2025）でスマートシティが一つの柱に設定[2021年3月答申予定]

# スマートシティの政策目標 ～「改革工程表2020」（2020年12月18日発表）

- Ⅰ 従来のスマートシティの定義は、抽象度が高く、実装・実現した世界における具体的な姿、および実現に向けたステップを十分に表現しきれていなかったため、政策目標と実現に向けたステップ・評価指標を見直し・明確化
- Ⅱ <https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/minutes/2020/1218/agenda.html>

改革工程表2020 「**社会資本整備等 3 . 新しい時代に対応したまちづくり、地域づくり**」 から抜粋

1 3 . スマートシティ、1 4 . 立地適正化計画の作成・実施の促進、1 5 . 地域公共交通計画の作成・実施の促進、  
1 6 . 都市計画道路の見直し、1 7 . 既存ストックの有効活用、1 8 . 所有者不明土地の有効活用 を含む。

**新しい時代に対応したまちづくり**を促進するためには、コンパクト・プラス・ネットワークの推進に向けた政策手段の強化とデジタル化の推進に向けた新技術を活用する取組を一体となって進める必要がある。このため、**政令指定都市及び中核市等を中心に**多核連携の核となるスマートシティを強力に推進し、**企業の進出、若年層が就労・居住しやすい環境を整備する**とともに、立地適正化計画及び地域公共交通計画の作成促進や策定された計画の実現を通じ、まちづくりと公共交通体系の見直しを一体的に進める。併せて、所有者不明土地対策等を推進する。

社会のDX化による地域サービス等の進展や新技術活用による新たな価値創出に資する基盤を構築する（**自治体オープンデータの蓄積・利活用の進展、コネクタ利用者数の増大等**）とともに、都市マネジメント高度化等による社会課題解決を目指す取組への民間企業・市民の参画状況を向上させる。結果として、**住民満足度の向上、産業の活性化、グリーン化の実現など社会的価値、経済的価値、環境的価値等を高める多様で持続可能な都市**が各地に形成され、**国内外に紹介できる優良事例を創出する。**

市町村の全人口に対して、居住誘導区域内に居住している人口の占める割合が増加している市町村数を、2024年度末までに評価対象都市の2 / 3 とすることを目指す。

問.これから作る「スマートシティ・ガイドブック」どんな内容が書かれているとよさそうでしょうか？

## 1. 成果

- ü 社会実験で取り組んできた結果、効果の共有
- ü 大都市のみならず地方版のスマートシティモデルも提示していくべき

## 2. 規制・ルール

- ü 法規制の対応、サンドボックスの活用

## 3. ファイナンス

- ü 実装化に向けた手順、ランニングコスト、損益分岐点のアドバイス
- ü 中長期的な投資と回収のモデル（ファンドの活用など）

## 4. 官民連携（ソリューションマッチング）

- ü 民間企業として、自社の製品をビジネス化したい。ソリューション例を記載して欲しい

## 5. 自治体・地域調整

- ü 事情の異なる土地、地域において、どう巻き込んで進めていくのかの指南が欲しい
- ü 水平展開する際、隣接市との調整、広域連携、地元のルール調整の仕方が課題
- ü 理解度・温度差が大。自治体で検討・実行するステップの指南書があるとよい

## 6. 都市OSについて

- ü データはオープン化に向かうはず。データを繋げられる仕組みを考え実装するには
- ü どこまでデータを公開できるのか、どんなやり方をすればいいのか。
- ü データ連携のベストプラクティス